

会 議 録

1 会議名

平成26年度第2回阿賀野市行政改革推進委員会

2 開催日時

平成26年8月1日（金） 午後3時00分から午後4時25分まで

3 開催場所

阿賀野市役所別館「302会議室」

4 出席者（傍聴者を除く。）の氏名（敬称略）

- ・出席：大淵委員長、笠原委員長代理、齋藤（佳）委員、音田委員、荻委員、中山委員、齋藤（由）委員、市村委員、関口委員
- ・事務局：市長政策課（中野課長、菅原課長補佐、中野主任）

5 議題（公開・非公開の別）

（1）議題

- ①平成26年度における事務事業評価に係る諮問について（公開）
- ②事務事業評価の実施手法等について（公開）

（2）その他

- ①事務事業評価における「利害関係者」の参画について（公開）

6 非公開の理由

なし

7 傍聴者の数

0人

8 発言の内容

（1）議題

- ①平成26年度における事務事業評価に係る諮問について（公開）
- ②事務事業評価の実施手法等について（公開）

委員長： 諮問については、諮問書のとおりとなるが、先ほど市長とも話をしてきたが、少子高齢化・人口減少への対応に迫られているとのことであり、その財源確保に繋げるためにも、行政事業のスリム化を考えていただきたいとの話であった。

具体的な評価の実施手法については、事務局より説明をお願いしたい。

(事務局より資料に基づき、平成26年度における事務事業評価に係る諮問の内容、及び事務事業評価の実施手法等について説明)

委員長： 職員のコーディネーターはなしで行うということで、私か笠原代理が仕切るということになるが、私自身は評価しないという考え方でよいか。また、笠原代理は、どうなるのか。

事務局： 委員長は、直接評価は行わないといった考え方でお願いしたい。笠原代理からは、他の委員と同様に、評価をいただくということをお願いしたい。

委員長： 今回の評価対象事業に、法定受託事務はないのか。

事務局： 法定受託事務は、対象となっていない。

委員長： また、1日半という日程であるが、説明者側の都合もあるため、日程を動かすのは厳しいものと思われる。委員各位においては、案のと通りの日程で調整をお願いしたい。

委員： 総合検証という考え方を取り入れたようであるが、どのようなイメージか。最終的には、従来どおり、個別に評価するようであるが、似たような事業をまとめてやるというだけのイメージか。

事務局： 似たような事業をまとめた狙いとしては、相互の比較がしやすいというところにある。

今回の例では、例えば、安田と水原それぞれの商工会の大売出し事業補助金が評価の対象となっているが、安田だけの説明を聞いて安田を評価する場合と、安田と水原の両方の説明を聞いて、安田を評価する場合とでは、評価の内容も変わってくる場合があるものと思われるため、双方の話を聞いた後に、それぞれの評価をできるように総合検証といった形でグループ分けをして実施するものである。

委員長： 説明者は違ってくるのか。

事務局： 総合検証①の事例では、同じ説明者となる予定である。

委員： 評価は、別々にやるということであるので、似たような事業であっても、それぞれ別の評価になる可能性もあるということでのよいか。

委員長： 例えば、安田は、使い過ぎていて、水原は、頑張っているといった評価に分かれることは、あり得ることである。

委員： 去年も商工会の補助金について評価をしたが、例えば商工会の会員数で事業費を割っていくとバラツキが出てくるが、そのような比較ができる。

委員長： 説明者をお願いしたい部分としては、先回の会議でもお願いしたが、「異動し

たばかりでわかりません。」といった回答となることがないようにしてもらいたい。

事務局： 説明者側への説明会も実施しているが、その点も含めて、適切な対応をしてもらえるようお願いをしている。

委員： 京ヶ瀬の農産物加工センターが評価の対象となっているが、他の地区にも同様のものがあると聞いている。他の地区は、なくなっているということによいのか。それとも、なくなっていないけど、単に補助金が行っていないということなのか。

事務局： 水原は、農協のとなりであり、笹神にもある。予算上指定管理料が発生しているのは、京ヶ瀬だけとなっている状況であるため、京ヶ瀬だけを評価の対象とした。

委員： 笹神の施設は、ただで貸すから自由に使ってくださいといった類の施設であって、雨漏りを市で直したか直さないか、そういう話をどうするかといった程度のものという理解でよいか。

事務局： 修繕をどうするかは、それぞれの施設で協定をどう結んでいるかというところと関係してくる。京ヶ瀬地区については、市から指定管理者に指定管理料を払っているところが、他との大きな違いである。

委員： 京ヶ瀬は、利用する際にボイラーマンがいないと利用できない形となっている。

委員長： 評価のスタイル、スケジュールはこの内容でやる。また、より具体的な事業の内容については、説明者から詳しく聞く形になるということによいか。

委員： 商工会の大売出しは、市から予算が出ているのか。

事務局： 当市の場合は、一部であるが、市から出ている。

委員： 売り出しについては、商店街、商工会が独立してやるということではないのか。

事務局： 商工会のやる事業に市が補助を出す形となっている。特別会計でやっており、加盟店からの加盟料や商工会本体からの補助、市からの補助などで大売出し事業を行っている。

委員： 市役所の税金で用意した景品があたって、喜んでいるということもあるということになる。今回、評価対象に商工観光課の事業が多く入っているが、何か意図があるのか。

事務局： 目的に対して、適切な手段となっているか、あるいは、求める成果が上がっているか否か検証が必要なものを評価対象としていくといった方針に従って選定したものである。

委員長： 大売出しについては、安田、水原でやっていて、京ヶ瀬、笹神ではやってい

ないということでのいいのか。

委員： 京ヶ瀬、笹神には、商店街がないので、やってもしょうがない。ただ、活性化を図るために、税金を使う必要があれば仕方がないが、税金が使われていること自体知らなかった部分もある。

委員長： まさに、そこを切りこんでもらいたい。費用対効果が上がっているか否か、また、税金を使うべきではないということであれば、そういった評価を出してほしい。

委員： 商業の活性化とその中の一つの事業としての売り出しをどう捉えていくかということであるが、確かに売り出しを行うことで、税金が投入されるかもしれないが、それを行うことで、商業の活性化という目的が達成できるのであれば有意義である。ただ、今は、商売自体が細っている現状にあるため、売り出し一つでどれだけの効果があるかとなると難しい部分がある。実態としては、今までの経緯があり、頼まれているから、売り出しに加盟しているという部分もあるのではないかと。商人にとって旨味がなければ、だんだん離れていくものでもある。一方、まち全体として、商業のまちとしてやっていくのであれば、精査して税金を投入していくことも必要である。新津のようにアーケードを取り払うと、みっともない部分も出てくるし、商店街がなければ、買い物も不便になる部分もあるので、そうした部分との兼ね合いも考えていかなければならない。

委員長： 評価については、このような形、本番では、担当者に内容を深く聞いていくということで、進めていくこととしたい。

(2) その他

①事務事業評価における「利害関係者」の参画について（公開）

委員長： これまでの話を聞いている中では、委員の中にも、何かしらの事業に関与している部分はあるようである。しかしそれをもって、一概に評価に参加しないという訳にもいかないと思う。

事務局： 委員も市民である以上、全く関わりがないことには、そもそもならないという考え方もある。

委員長： これまでは、班編成をしていたということで、その部分で考慮していたとのことであるが、今回は、班編成がないということでどうしようかということである。個別の利害関係について、あまり厳密に考えると、例えば、一度も入ったこともない施設なのに、組織に属していることのみをもって利害関係があるという考え方にもなるし、一方で、利害関係があったとしても、内情を知るがゆえに、逆に、突っ込めるという部分もある。

委員： 直接関与する立場にあるかどうかということをもって判断すべきである。例えば、農協が指定管理者となっている施設を評価するにあたって、評価者が農協の組合長や理事、直接の担当課長というのでは問題があるが、担当責任者でないということであれば問題ないのではないかと。商工会についても、例えば

イベントの責任者などといった立場であれば問題かもしれないが、単なる一会員ということであれば問題ない。

委員： 多数決ということなので、それだけで評価結果が大きく左右されるものでもない。

委員長： 委員の皆さんで、今回の11事業、自分は深く関与していると思うものがあるか。

委員： プレミアム商品券などは、商店であればどこでも関係してくるが、どういうものか。

委員長： これまでの話の中では、関与の度合いということでは、それほど深い関与のある委員もいないようである。委員全員でこのまま評価に参加するということをお願いしたい。

9 問い合わせ先

阿賀野市役所総務部市長政策課企画経営係

TEL：0250-62-2510（内線 261）

E-mail：shichoseisaku@city.agano.niigata.jp